

2021年卒
Vol. 5

3月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2021 学生モニター調査結果 (2020年3月発行)

2021年卒者の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートさせた。売り手市場ではあるものの、新型コロナウイルスの流行で説明会の中止や延期が相次ぐなど、少なからぬ混乱が生じている。就活への影響が懸念される中、キャリアス就活・学生モニターを対象に、解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行った。

1. 3月1日時点の内定状況

- 内定率は15.9%。前年同期実績(13.9%)を2.0ポイント上回る
- 内定企業の7割近く(69.3%)が「インターンシップ参加企業」

2. エントリー状況、会社説明会参加状況

- 会社説明会は平均4.0社参加。現段階では前年同期実績を上回る

3. 新型コロナウイルス流行の影響

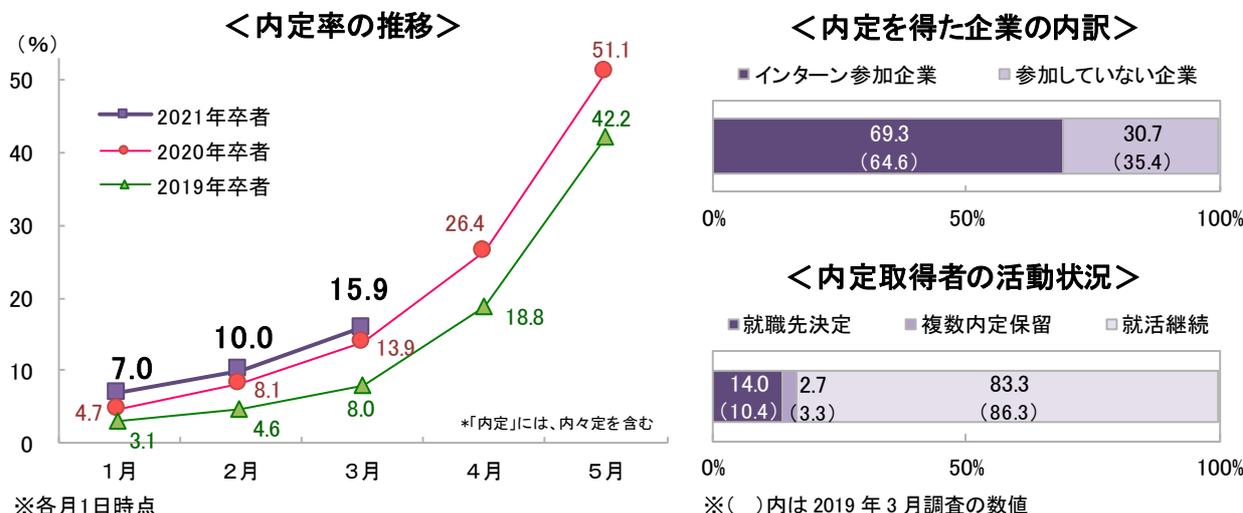
- 自身の就活に「影響を受ける」と回答した学生は9割超(90.5%)

1. 3月1日時点の内定状況

3月1日の就活解禁時点で、すでに内定を手にしてという学生は全体の15.9%に上った。前回調査(10.0%、2月調査)からの1カ月間に5.9ポイント上昇し、前年同期実績(13.9%)を2.0ポイント上回る。

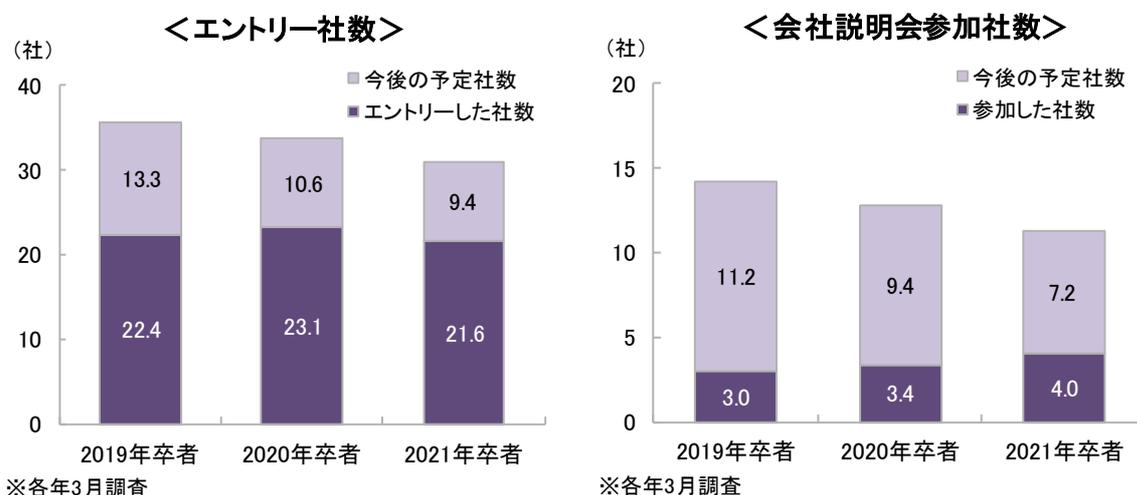
内定を得た企業のインターン参加経験有無を調べたところ、内定企業の7割近く(69.3%)がインターンシップに参加した企業だった。この比率は毎年上昇しており、インターンシップが早期選考、さらには早期内定につながるケースが増えていることがわかる。

内定取得学生のうち、就職先を決めて就職活動を終了したのは14.0%で、大半は内定を得ても就職活動を継続していると回答。モニター学生全体を分母にとると、就活終了者(就職先決定)は2%程度。



2. エントリー状況、会社説明会参加状況

一人あたりのエントリー社数の平均は21.6社で、前年同期実績（23.1社）を1.5社下回った。今後のエントリー予定社数も前年より少なく（10.6社→9.4社）、企業の絞り込みが一層進みそうだ。説明会（企業単独開催）は平均4.0社に参加。早期化に伴い現段階では前年同期実績を上回るが、中止や延期になった説明会も少なくないことから、今後は不透明だ。活動量が極端に減ることも考えられる。

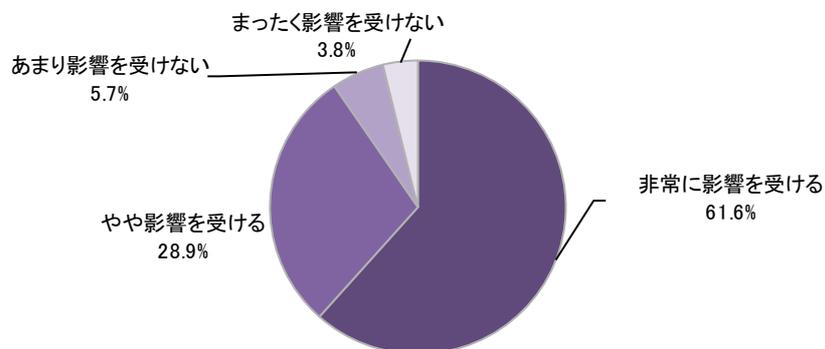


3. 新型コロナウイルス流行の影響

新型コロナウイルスの流行によって、自身の就職活動が影響を受けると思うか否かを尋ねた。「非常に影響を受ける」という回答が6割を超え（61.6%）、「やや受ける」を合わせると9割を超える（計90.5%）。影響の中身として多いのは、合同企業説明会を含めた説明会の中止・延期に言及する声で、企業を知る機会が減ることへの不安を漏らす学生が目立つ。面接が急遽WEB形式に変更になり戸惑う学生も見られた。流行が終息しても景気が落ち込み、採用数を減らす企業が出るのではと心配する声もあった。

序盤から前年実績を上回る内定率をマークし、順調に見える就職戦線だが、状況次第では就職活動が停滞し、内定率が伸び悩んでくる可能性もある。

<新型コロナウイルス流行による自身の就職活動への影響>



調査概要

- 調査対象：2021年3月に卒業予定の大学3年生（理系は大学院修士課程1年生含む）
- 回答者数：1,393人（文系男子447人、文系女子415人、理系男子372人、理系女子159人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2020年3月1日～5日
- サンプリング：キャリアス就活2021学生モニター